

CASBEE[®] 新築 [簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 I 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ロングライフ栄広園新築工事計画	階数	地上 2F
建設地	京都府南丹市八木町南広瀬八反田	構造	S造
用途地域	第1種低層住居専用地域、法22条地域	平均居住人員	87 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2012年1月18日
敷地面積	2,887 m ²	作成者	今西良一
建築面積	1,318 m ²	確認日	2012年1月20日
延床面積	2,400 m ²	確認者	角西勇一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%

② 建築物の取組み: 72%

③ 上記+②以外のオンサイト手法: 72%

④ 上記+オフサイト手法: 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	周囲の環境に配慮し、サービス付高齢者向け住宅+住宅復帰型デイサービスであるため、安全性に配慮した計画である。	その他 0
Q1 室内環境	断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に配慮している。また、空調システムや照明器具も効率の良い計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	省エネルギー計算からも明らかなように、建物の熱負荷を十分に抑制している。	LR3 敷地外環境 周辺環境への環境負荷の拡大を防ぐように努めている。
Q2 サービス性能	建築基準法をクリアし、安全で快適な環境に配慮している。施設用途が高齢者向け福祉施設であるため安全性には特に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	水資源の保護と再生品再利用を積極的に採用するように努めている	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい